

副産物情勢

8月10日 更新

J A 全農ミートフーズ株式会社

項 目			内 容	備 考																								
内 臓	1.国産牛	○ 6月の成牛と畜頭数は、88.4千頭と前年並み(前年比101.6%)。 内訳を見ると、和牛:40.6千頭(前年比102.9%)、交雑牛:21.2千頭(同107.4%)、乳牛去勢:11.2千頭(同92.4%)となった。 ○ 7月の成牛と畜頭数は、速報値(7月31日まで集計)で95.1千頭と前年並みとなった(前年比101.0%)。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(7月27日公表)によると、7月の出荷頭数は、全品種での増加が見込まれることから、前年同月を上回ると予測し、8月は、乳用種は減少するものの、和牛および交雑種の出荷頭数の増加が見込まれることから上回ると予測する。 (7月95.8千頭(前年比101.4%)、8月86.1千頭(同100.4%))。 ○ 需 給 動 向 : と畜頭数が前年を超える水準のため供給量は安定しているが、外食や加工向け需要の回復等から焼き材を中心に堅調な荷動きをしている。 米国のと畜頭数減少や人手不足を背景に輸入原料の品不足が当面続く見込みのため、国産牛内臓原料の需給は引き締まっている。		1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年4月 1日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和3年4月 26日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和3年10月 18日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年2月7日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和4年4月4日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年8月8日</td><td>45</td><td>9</td></tr></table> ※乳牛も同様45円/kg *豚正貫物	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年4月 1日	35	7	令和3年4月 26日	25	5	令和3年10月 18日	35	7	令和4年2月7日	25	5	令和4年4月4日	35	7	令和4年8月8日	45	9			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																									
	令和3年4月 1日	35	7																									
令和3年4月 26日	25	5																										
令和3年10月 18日	35	7																										
令和4年2月7日	25	5																										
令和4年4月4日	35	7																										
令和4年8月8日	45	9																										
2.国産豚	○ 6月の全国豚と畜頭数は、1,327千頭と前年並み(前年比99.1%)。 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道105.9%、東北99.7%、関東99.4%、北陸甲信越102.6%、東海97.9%、近畿87.5%、中四国96.3%、九州・沖縄97.4% ○ 7月の全国と畜頭数は、1,259千頭(速報値7月31日まで集計、前年比100.7%)と前年並みの見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年と同様で、1日当たりの平均と畜頭数は62,970頭(前年実績:62,566頭/日、前年差+404頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;7月21日付け)によると、8月;1,299千頭(前年比98%)、9月;1,329千頭(同98%)、10月;1,445千頭(同104%)、11月;1,481千頭(同100%)、12月;1,485千頭(同102%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約100%と前年並み。 ○ 需 給 動 向 : 夏場の廃棄率上昇等により供給量は不安定な状況が続いている。また、様々な販売チャネルが豚内臓を求めていることにより豚内臓の需給ひっ迫状況は続いている。ただし、価格が高騰する状況が続けば、需給は一変する可能性がある。		2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年3月 11日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和3年4月19日</td><td>25</td><td>3</td></tr><tr><td>令和3年10月 15日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年2月1日</td><td>25</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年3月28日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年8月1日</td><td>45</td><td>5</td></tr></table>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年3月 11日	35	4	令和3年4月19日	25	3	令和3年10月 15日	35	4	令和4年2月1日	25	4	令和4年3月28日	35	4	令和4年8月1日	45	5				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																										
令和3年3月 11日	35	4																										
令和3年4月19日	25	3																										
令和3年10月 15日	35	4																										
令和4年2月1日	25	4																										
令和4年3月28日	35	4																										
令和4年8月1日	45	5																										
3.輸入牛	○ 6月の輸入通関実績は、全体で43.7千トと前年を下回った(前年比75.7%、前月比94.1%)、内訳ではチルド;16.5千トン(前年比72.3%、前月比102.5%)、フローズン;27.2千ト(前年比77.9%、前月比89.6%)となった。 輸入相手国別では、チルドは豪州が増加したが、その他の国は減少した。フローズンは、全ての国が減少した。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドの輸入量は、需要の低迷や米国産の現地価格の高騰等により減少し、7月、8月ともに前年を下回ると見込んでいる。フローズンは、国内の輸入品在庫量が多い事や円安の影響等により、7月、8月ともに前年を下回ると見込んでいる。3か月平均でも、チルド、フローズンともに下回ると見込んでいる。 令和5年7月 合計;43.7千ト(前年比84.0%)、チルド;17.6千ト(同90.2%)、フローズン;26.1千ト(同80.4%) 令和5年8月 合計;44.7千ト(前年比83.5%)、チルド;17.7千ト(同90.5%)、フローズン;27.0千ト(同79.6%) ○ 輸入牛内臓実績(令和5年6月):牛腸(冷凍) ;1,034ト(前年比75.9%・前月比97.2%) 国別実績;米国690ト、メキシコ190ト、カナダ104ト、豪州49ト、ニカラグア1ト 牛レバー(冷凍); 108ト(前年比131.6%・前月比129.6%) 国別実績;米国82ト、豪州11ト、メキシコ15ト		3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和牛)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>平成31年1月5日</td><td>1,000</td><td>30</td></tr><tr><td>令和元年7月22日</td><td>700</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>500</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月15日</td><td>100</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月20日</td><td>100</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年5月24日</td><td>10</td><td>10</td></tr></table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成31年1月5日	1,000	30	令和元年7月22日	700	10	令和2年3月16日	500	10	令和2年6月15日	100	10	令和2年7月20日	100	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年5月24日	10	10	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																										
平成31年1月5日	1,000	30																										
令和元年7月22日	700	10																										
令和2年3月16日	500	10																										
令和2年6月15日	100	10																										
令和2年7月20日	100	2																										
令和2年9月28日	10	2																										
令和3年5月24日	10	10																										
原 皮	1.牛原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 5 年 6 月) : 50,338枚(前年比155.3%、前月比95.1%) 国別実績;タイ31,188枚(前年比171.5%)、韓国8,260枚(同145.6%)、ベトナム6,830枚(同85.9%)、フィリピン2,300枚(同383.3%)、カンボジア1,760枚(同なし) 輸出平均価格(令和5年6月):2,366円/枚(前年差△715円、前月差+185円) ○ 輸 入 実 績 (令 和 5 年 6 月) : ウェットブルー27,558枚※(前年比130.7%、前月比154.6%)、牛大判皮16,167枚(同40.4%、同151.4%) ※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和5年6月):ウェットブルー7,963円/枚(前年差+1,287円、前月差+109円)、牛大判皮7,335円/枚(同△1,495円、同+183円) ○ 海 外 情 勢 : 米国の牛と畜頭数減少により日本産原皮が流通しやすい環境と推定されるが、経済悪化等により皮革製品の需要が減少しているため厳しい展開が続いている。 ○ 国 内 情 勢 : タンナー全体の稼働率は昨年より回復しているが、未だに50%程度の稼働率のため、品質低級原皮の需要はほぼ無い。		4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和ヌキ)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>令和元年7月16日</td><td>1,000</td><td>30</td></tr><tr><td>令和元年8月15日</td><td>1,000</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>800</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月22日</td><td>300</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月27日</td><td>300</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年6月1日</td><td>10</td><td>10</td></tr></table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	令和元年7月16日	1,000	30	令和元年8月15日	1,000	10	令和2年3月16日	800	10	令和2年6月22日	300	10	令和2年7月27日	300	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年6月1日	10	10
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																									
令和元年7月16日	1,000	30																										
令和元年8月15日	1,000	10																										
令和2年3月16日	800	10																										
令和2年6月22日	300	10																										
令和2年7月27日	300	2																										
令和2年9月28日	10	2																										
令和3年6月1日	10	10																										
2.豚原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 5 年 6 月) : 1,110,056枚(前年比113.1%、前月比111.6%) 国別実績;タイ914,056枚(前年比127.6%)、カンボジア122,900枚(同75.9%)、ベトナム38,000枚(同50.7%)、韓国35,100枚(同124.5%) 輸出平均価格(令和5年6月):402円/枚(前年差△44円、前月差+4円) ○ 需 給 動 向 : 製品革の主要用途である靴のライニング需要が冷え込んでいるため、海外タンナーの工場稼働状況は芳しくない。 春先から少しずつ輸出平均価格は上向いてきたが、海外タンナーの豚原皮仕入抑制等により値崩れする可能性が高い。																											
レンダリング	1.油脂等	○ 国産食用加工油脂向け価格(7月渡し):牛脂155円/kg(前年差△40円、前月差△10円)、豚脂165円/kg(同△25円、同△10円) 牛脂は引き続き需給緩和傾向。大手ファーストフード向け、カレールゥ向けともに値上げの影響等により需要が減退。 豚脂は引き締め感が継続。加工食品メーカー向け生脂需要が堅調なほか、市中のラード需要も底堅く推移。 ○ マレーシア産パーム油相場(6月):143円/kg(前年差△66円、前月差△6円) 6月生産量は144.8万トン(前月比95.4%)、輸出量は117.1万トン(同108.6%)、月末在庫は172.1万トン(同101.9%)となった。 輸出需要の回復傾向、大豆油価格の上昇、ロシアによるウクライナ穀物倉庫攻撃等により今後の相場は上げ基調が予想される。 ○ 関 東 飼 料 用 油 脂 (7 月) : 144円/kg(前月差±0円) ○ 工 業 用 油 脂 (7 月) : 115円/kg(前月差+0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(7月):143円～146円/kgあたり(前月差±0円)		5.食用加工油脂価格 単位:円/kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛脂</th><th>豚脂</th></tr><tr><td>令和4年1月1日</td><td>145</td><td>140</td></tr><tr><td>令和4年3月1日</td><td>155</td><td>150</td></tr><tr><td>令和4年4月1日</td><td>175</td><td>170</td></tr><tr><td>令和4年7月1日</td><td>195</td><td>190</td></tr><tr><td>令和5年1月1日</td><td>175</td><td>175</td></tr><tr><td>令和5年4月1日</td><td>165</td><td>175</td></tr><tr><td>令和5年7月1日</td><td>155</td><td>165</td></tr></table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和4年1月1日	145	140	令和4年3月1日	155	150	令和4年4月1日	175	170	令和4年7月1日	195	190	令和5年1月1日	175	175	令和5年4月1日	165	175	令和5年7月1日	155	165
価格改定年月日	牛脂	豚脂																										
令和4年1月1日	145	140																										
令和4年3月1日	155	150																										
令和4年4月1日	175	170																										
令和4年7月1日	195	190																										
令和5年1月1日	175	175																										
令和5年4月1日	165	175																										
令和5年7月1日	155	165																										